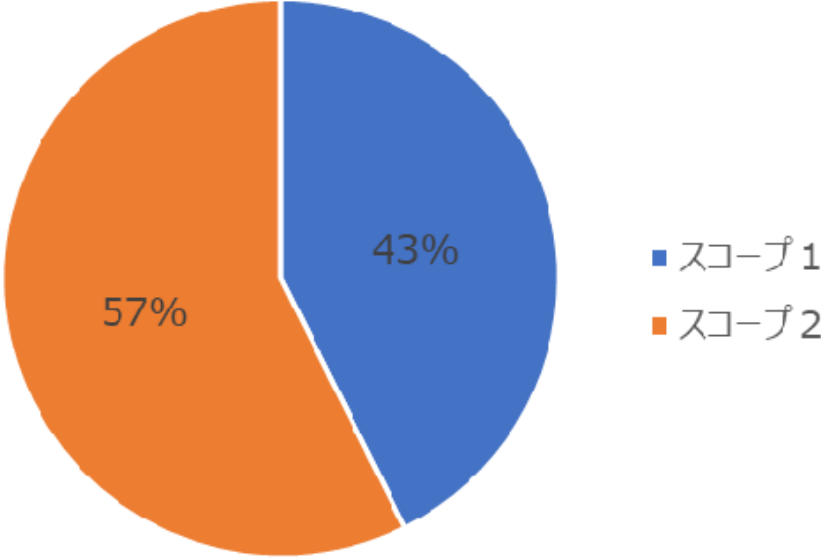


精電舎電子工業株式会社

項目	内容
1.企業情報	<ul style="list-style-type: none">● 業種：製造業（機械・電気機器、精密機器）● 事業概要：プラスチック溶着溶断装置及び応用加工技術を総合的に提供できる専門メーカー、1924年創業。● 事業規模：従業員約160名
2.削減目標案	<p><Scope 1・2 の削減目標と削減に向けた取り組み></p> <p>近い将来 Scope 2 の「電力」の排出量削減に向けた検討を始めるための情報収集を開始。</p> <p><Scope 3 の削減目標と削減に向けた取り組み></p> <p>自社のサプライチェーン排出量削減に向けた取組み案のひとつとして、Scope 3 の15カテゴリの内、「カテゴリ11:販売した製品の使用」について、下記の検討を実施。</p> <p>（例）一定条件における製品（新旧モデル）の電力使用量等の比較によるCO2排出量の算定・CO2削減量（削減貢献量）の“見える化”。</p>

精電舎電子工業株式会社

項目	内容	
3.基準年のGHGインベントリ	<ul style="list-style-type: none"> ● Scope 1・2・3の排出量の状況 	<ul style="list-style-type: none"> ● SCOPE1 : 対象外 (算定済) [tCO2]
	 <p>■ スコープ1 ■ スコープ2</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● SCOPE2 : 算定済 [tCO2]
		<ul style="list-style-type: none"> ● SCOPE3 : 対象外 (一定条件下で算定済) [tCO2]

精電舎電子工業株式会社

項目	内容
<p>4.気候変動によるリスクと機会の分析</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● サプライチェーンにはSBT認定・設定（予定）企業があり、以前からサプライヤーや調達先におけるCO2削減活動や環境マネジメントの推進を行ってきている。今後は当社を含めたサプライチェーン全体において脱炭素への取組みの要請が出てくる可能性がある。・・・リスク ● 例えばScope 3の15カテゴリの内、「カテゴリ11:販売した製品の使用」の排出量を算定し、CO2削減量（削減貢献量）を“見える化”することで、より他社製品との差別化が図れ、新しい取引機会に繋がる可能性がある。・・・機会
<p>5.削減目標設定の背景・目的・期待する効果など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 近い将来、環境や人権に配慮した持続可能な原材料の調達やエネルギーを調達する企業からの要請（例：電力を持続可能に）があった場合、気候変動対策に向けた取組みのひとつである「RE100設定・検討」開始のための情報収集の機会とする。

精電舎電子工業株式会社

項目	内容
6.目標設定のプロセスと社内の議論	<ul style="list-style-type: none">● RE100設定・検討に向けた取組みは、環境マネジメントを推進する事務局を中心として、RE100設定・検討を開始し、気候変動によるリスクと機会の分析を通して、目標設定のプロセスを理解した。● 目標の実現可能性について、2030年、2050年時点の事業環境の変化を見通せない難しさがあり、RE100設定・検討の開始はリスク対応のひとつの取組みとして捉えた。
7.今後の課題	<ul style="list-style-type: none">● Scope 2の「電力」の排出量削減に向けての検討の際、例えば調達コストアップが課題となる。今後再エネが更に普及してくれば、より低価格の「CO2ゼロプラン」等、新たな電力商品メニューの販売が予想されるので、引き続き情報収集を行っていく。